

台風19号豪雨災害ボランティアのご報告



2020.8 医療法人 良秀会 RYOSHUKAI

被災地へ向けたバス移動

令和元年11月16日、高石市社会福祉協議会と高石市ボランティア連絡会協働による災害支援ボランティア活動に良秀会高石在宅総合センターのスタッフ2名が参加して参りました。

前日の11月15日午後11時に高石市役所を出発し高石市社会福祉協議会、高石市地域包括支援センター、高石市ボランティア連絡会、高石市内の介護サービス事業所の職員の方々と総勢49名で10月に発生した台風19号の豪雨により深刻な被害を受けた長野県長野市にボランティアバスにて被災地へと向かいました。道中のバス内では他職種の方々と情報交換をしながら翌朝の7時に長野県長野市に到着しました。

ボランティア活動の内容

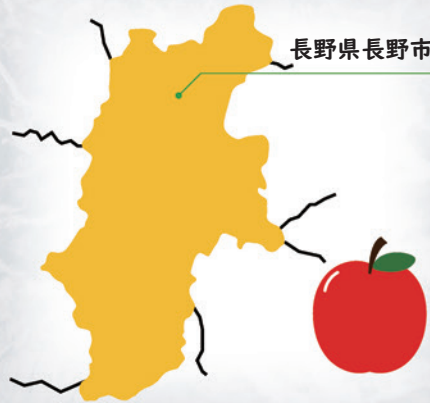
当日は天候にも恵まれ、5名

1組のグループに分かれて被災された方の自宅へ訪問しました。現在のお困り事、必要な作業内容などをお聞きしてボランティア活動を開始しました。

私達が訪問させていたただいたお宅はりんご農園を営まれていました。台風19号の水害により自宅1階の床上浸水、りんご農園の壊滅的な被害を受けておられました。りんご農園は水害により泥が流れ込みりんごが散乱している状態でした。水害により泥まみれになったりんごの収穫に使用する収納箱を綺麗にしてもらいたいとの要望があり、高圧洗浄機での洗い流し、拭き取り、倉庫収納の作業をグループで役割分担しながら、午前9時から午後3時まで行いました。作業終了後は現地のボランティアセンターにて炊き出しを頂き冷えた体がとても暖まりありがたかったです。17時に長野県を出発し途中で入浴施設に立ち寄り食事、



入浴を行い高石市には翌日午前2時に到着し解散となりました。



活動を通して見えたもの

今回、初めて災害支援ボランティア活動に参加させていただき実感したのは、被災地の復興がまだまだ進んでいない現状、ボランティアの人手不足です。これから被災地は冬を迎えます。ますます過酷な被災生活を過ごされる事が予測され継続したボランティア支援が必要と思われ。テレビなどでも報道されているようにボランティアの人手不足は深刻な問題となっております。災害支援ボランティア活動について興味、関心がある方は、高石在宅総合センターの武井、河北までご相談ください。高石市社会福祉協議会、高石市ボランティア連絡会へのご紹介や、ボランティア活動の内容についてご説明させていただきます。今後この貴重なボランティア経験を活かし助け合いの精神を大切に地域貢献活動を続けて参りたいと思います。

良秀会高石在宅総合センター

河北

